

令和

5

年度

事業者番号0052

事業所番号005200

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	志木地区衛生組合 新座環境センター		前年度における事業所数	2
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	新座市		
	字 ・ 地 番	大和田3丁目9番1号		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産 業 分 類 名 (中 分 類)		88 廃棄物処理業		
分 類 番 号 (中 分 類)		88		
事 業 活 動 の 概 要		主な業務：一般廃棄物の中間処理 敷地面積：10863.61㎡ 東工場 建築延面積：3245.10㎡ ごみ焼却炉：90 t /24H 西工場 建築延面積：2527.09㎡ ごみ焼却炉：90 t /24H		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	2,906	t-CO ₂	基準となる原単位	t-CO ₂ /t/年
		平成20年度排出量2,906t-CO ₂ に対し、年平均20%、582 t-CO ₂ を削減目標とする。				
	その他ガス	平成20年度排出量26,300t-CO ₂ に対し、年平均約3%、790t-CO ₂ を削減目標とする。				

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	志木地区衛生組合 新座環境センター	新座市大和田 3 丁目 9 番 1 号
2	(仮称) 志木環境センター用地	志木市宗岡 1 丁目 7 2 0 9 番 1 志木市宗岡 1 丁目 3 5 4 4 番 7 朝霞市宮戸北井房 3 5 5 5 番
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	1,440	1,467	1,450		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準	2,906	2,867	2,916	2,911	
	前 年 度 比 （ % ）	—	1.7	-0.2		
	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）	1.3	-0.3	-0.2		
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	22,235	32,564	27,118		
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		25,102	35,480	30,029		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排出量 原 単 位	基 準	0.0609	0.0613	0.0616		
	前 年 度 比 （ % ）	—	0.7	0.6		
	基 準 となる 原単位 に対する 削減率 （ % ）					
活 動 規 模 の 指 標 単 位		47,114.00	47,593.00	47,234.00		
可 燃 ご む の 焼 却 量 t/年						

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	設備の増減は無いが運転日数の増加により使用電力が増加したため排出量が増加した。 (H31年度2,828t-CO ₂)
令和3年度 (2021年度)	設備の増減は無いが運転日数の増加により使用電力が増加したため排出量が増加した。 (R2年度 2,867t-CO ₂)
令和4年度 (2022年度)	設備の増減は無いが運転日数の減少により使用電力が減少したため排出量が減少した。 (R3年度 2,916-CO ₂)
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36.電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	既存プラントの整備等の更新時期には、モーター、空調機器、照明機器等を省エネ型を採用する。		R4	
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32.燃料の燃焼の合理化に関する措置	ごみのかく拌作業を重視し、効率のよい運転に努める。		R4	
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32.燃料の燃焼の合理化に関する措置	中央制御盤(DCS)による燃焼制御(第3計画期間も継続)		R4	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33.加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	中央操作室のボイラー監視画面により制御(第3計画期間も継続)		R4	
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32.放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
6	320400	熱交換器等	32.廃熱の回収利用に関する措置	定期点検、オーバーホールの実施(第3計画期間も継続)		R4	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33.加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機器保守点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
8	350600	受変電設備、配電設備	35.抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロー、コンプレッサー等	36.電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
10	370700	電動応用設備、電気加熱設備等	37.電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
11	390700	昇降機	39.電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	定期点検の実施(第3計画期間も継続)		R4	
12	410700	事務用機器	41.電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	アースクリーン活動(各運転管理業者ごとにリーダーを置き、省エネを意識した14項目を毎月、個人単位で取組状況を確認) (第3計画期間も継続)		R4	
13	490200	その他	49.その他の削減対策	事業系可燃ごみ収集車両のごみ質検査の実施回数を増やし、再資源可能な廃棄物が混入していないか検査し、不適切な場合には改善計画の提出や受入停止とする。		R4	
14							
15							